

令和 8 事業年度

事業計画及び収支予算書

公益財団法人 市原市文化振興財団

令和 8 事業年度事業計画 概要

公益財団法人市原市文化振興財団（以下「財団」という。）は、「文化芸術基本法」、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」等の趣旨を十分に認識し、市原市の文化振興を担う唯一の公益法人として、行政や市民をはじめ、各種文化団体等と連携・協力しながら市内の芸術文化振興を実施してまいります。

令和 8 事業年度については、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の指定管理者として、新たな第五期指定管理期間（令和 8 年度から令和 12 年度まで）を迎えることから、市原市の文化振興の拠点として、市民の皆様がより身近に文化芸術や文化活動に親しむ機会の創出に努めるとともに、財団としても常に成長しながら市民文化の発展に寄与してまいります。

指定管理文化事業では、著名アーティストの公演や、地元企業と共同で実施するクラシック公演など、地域の芸術文化のニーズに応える事業を実施するほか、市民参加型の事業や、次代を担う子供たちが参加し、体験できる事業等を実施することで、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につながるよう努めます。また、市原市文化団体連合会が設立 60 周年の節目を迎えることから、これを記念した事業を市原市文化団体連合会と協働で実施するほか、「文化芸術ワークショップ」を継続して実施することで、地域文化の継承と更なる発展に努めていきます。一方、自主文化事業では、市内の小学校や商業施設等に出向くアウトリーチ事業を継続して実施していくほか、中学校の音楽活動の活性化に繋げることを目的とした「市原市吹奏楽活性化事業」や、アマチュアの音楽活動を支援する事業を計画するなど、身近に文化に触れることのできる事業を実施いたします。

市民会館の指定管理については、第五期指定管理期間における市民会館の管理運営に関する 4 つの運営方針である「市民が親しみ・安らぎを実感できる施設運営」、「多彩なジャンルの文化芸術に触れる機会の充実」、「文化芸術に携わる人材の育成・支援」、「文化振興を高める組織体制の確立」を基本として、施設の設置目的を達成するとともに、更なる来場者の増加を目指し、市民サービスの向上に繋げながら、安心・安全に市民が市民会館施設を使用できる管理運営に努めてまいります。

令和8事業年度の事業計画は、次に定めるところによる。

I 公益目的事業

芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業で、文化の香り高いまちづくり形成のための基盤及び環境形成を推進すること、地域コミュニティに根ざした生涯学習事業を推進することにより、心豊かで活気に満ちた市民生活の実現に寄与することを目的に実施します。

1 文化事業

(1) 指定管理文化事業

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、市民会館施設を市原市の文化の拠点と位置づけ、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するとともに、本年度は特に文化団体連合会60周年記念事業を含めた公演等を年間16事業実施します。

(2) 自主文化事業

財団の自主事業として実施する文化事業で、市内全域を視野に入れたアウトリーチ型の公演や鑑賞型の公演、芸術文化活動の活性化を図る事業、文化芸術に携わる人々を支援・育成する事業など、さまざまな事業を年間11事業実施します。

(3) 受託文化事業

市原市から「更級日記千年紀講演会」や「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運營業務、さらに今年度から新たに「文化部活動の地域移行運營業務」の3事業を受託します。

2 施設管理運営事業

市原市から指定管理者の指定を受けて管理・運営を行っている市民会館施設を、市内の文化振興の拠点として適正に維持管理し、公益目的事業の内容に沿って施設貸出を実施するほか、利用者へのサービス向上と利便性の向上、専門的人材による知識や技術等の供与を行う事業を実施します。

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

宴会室については、飲食提供に必要な不可欠な厨房設備等が老朽化してきており、設備修繕等の必要性があることから、現在、臨時会議室等として使用しています。なお、市原市から厨房設備等の設備修繕等は実施しないとのことであるため、引き続き市原市と宴会室の使用方法を協議してまいります。

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外の公演のチケットの受託販売事業を実施します。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板類、飾花、ピアノ調律、コピーのサービスを実施するほか、物品等販売、弁当、飲料、ゴミ袋の販売を行い、利用者サービスの向上を図る事業を実施します。

Ⅲ その他の事業

市民会館において、施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸与を行う事業を実施します。

令和8事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団 事業計画書

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 指定管理文化事業

公演日	実施 場所	事業名	事業内容	対象年齢
令和8年 5月16日	小ホール	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽 コンサート	0歳からの子供を対象に室内楽コンサートを開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体験をすることで、未来を担う子供達にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とする体験・鑑賞型事業。	全世代
6月7日	大ホール	楽器体験事業	若い世代に人気があるフルートを未経験の小学生及び保護者に体験してもらう機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする体験型事業。	小学生 以上
7月4日	大ホール	ハッピー コンサート	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	10代～ 70代
7月25日 26日	大ホール 小ホール	市民会館 探検ツアー	市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施する参加・体験型事業。	小学生 以上
8月9日	小ホール	県民文化イベント	公益財団法人千葉県文化振興財団と共同で開催する文化普及事業を市原市でも行うことにより、文化芸術の振興を目的とする体験型事業。	全世代
9月26日	大ホール 小ホール 会議室	市原市文化団体 連合会60周年 事業	令和7年度に地域文化功労者表彰を授賞した市原市文化団体連合会設立60周年記念事業。	全世代

10月17日	大ホール	デジタルシアター	高画質・高音質でデジタルアーカイブされた過去の名作演劇を上映することにより、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代
10月31日	大ホール	スマイルコンサート	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	40代～50代
11月3日	大ホール	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出場し各賞に輝いた学校にその成果を披露できる場を提供するとともに、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とする参加・鑑賞型事業。	全世代
9月～12月	大ホール 小ホール 会議室	市原市文化祭	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。市民会館では次の行事を開催する。 10/10 合唱祭 (大ホール) 朗読音楽劇 (小ホール) 10/11 アンサンブルフェスタ (大ホール) 三曲大会 (小ホール) 10/18 民舞大会 (大ホール) 吟詠剣詩舞大会 (小ホール) 10/25 短歌大会 (会議室棟) 11/1 俳句大会 (会議室棟) 11/8 茶会 (会議室棟) 音の輪きずな祭 (大ホール) 民謡秋まつり (小ホール) 11/15 ハワイアンフラ祭 (大ホール) 郷土芸能大会 (小ホール) 12/6 バレエ公演 (大ホール) 歌謡祭 (小ホール)	全世代

10月29日 30日	大ホール	生涯学習支援 (市原市小学校音楽発表会、市原市中学校音楽発表会、特連文化フェスティバル)	(小中学校音楽発表会) 市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。	全世代
12月11日			(特連文化フェスティバル) 市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。	全世代
令和9年 2月13日	小ホール	古典芸能公演	日本の古典芸能を鑑賞する場を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	40代～ 70代
未定	大ホール 小ホール 会議室	文化芸術 ワークショップ	市内文化団体と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的とする育成型事業。	全世代
未定	大ホール	みらいを奏でる 音楽会	クラシック音楽の公演を実施することで、市原市民に高度な芸術音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	小学生 以上
未定	大ホール	ファミリー劇場	優れた舞台芸術の公演を実施することで、これからの未来を背負って立ついちはらの子供たちに生涯学習の機会を提供するとともに、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代
未定	大ホール	市民参加型事業	市民が気軽に参加できる事業を企画し、市民と作り上げる参加型事業。	全世代

(2) 自主文化事業

① 自主文化事業

公演日	実施 場所	事業名	事業内容	対象年齢
通年	—	いちはら	財団主催の事業や市民団体等が主催するイ	全世代

		Artists Power	ベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集・登録し、アーティストに活躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原市をもっと元気にすることを目的とする育成型事業。	
年 2 回	市内各所	まちくる！	「いちほら Artists Power」登録アーティスト等を活用し、市内各所でイベントを実施し、アーティスト育成及び市原市の芸術文化活動振興を目的とする育成・鑑賞型事業。	全世代
年 2 回	—	文化振興広報事業	財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する広報事業。	全世代
通年	—	文化振興ボランティア	財団が主催する事業において、運営をサポートしていただくボランティアを募集・登録することで、文化振興に参加する人材を育成する育成型事業。	高校生以上
令和 8 年 6 月頃	市内 小学校	市内小学校 アウトリーチ事業	市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う子供達に芸術文化に触れる機会の提供や、児童達の自己啓発を促し、生涯学習の一助となることを目的とする事業。	小学生
9・3 月頃	大ホール 小ホール	市原市吹奏楽活性化事業	市内中学校音楽活動の活性化に繋げることを目的とする事業。	中学生
未定	大ホール	音楽活動支援事業	ホールで本番と同様に舞台・音響・照明等をセットし、自由に練習できる場を設けることで、アマチュアの音楽活動を支援することを目的とした参加型事業。	全世代
未定	大ホール	ポピュラー コンサート	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代

②共催公演事業

公演日	実施 場所	事 業 名	事 業 内 容
令和 8 年 9 月 6 日	大ホール	稲川淳二の 怪談ナイト	豪華なセットと怪談話による公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とする鑑賞型事業。

10月4日	大ホール	市原フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会	市内のアマチュア管弦楽団の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とする鑑賞型事業。
12月13日	大ホール	市原市楽友協会 市民コンサート	市内の音楽愛好家団体の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とする鑑賞型事業。

③支援事業

支援事業は、文化団体等が実施する文化活動への音響、照明等の技術提供、助言等を行う事業で、主催団体からの依頼を受けて当財団が支援を行う事業。

(3) 受託文化事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容
令和8年 9月頃	未定	更級日記千年紀 講演会	市原市の主催する「更級日記千年紀講演会」の運営業務を受託する事業。
11月頃	未定	更級日記千年紀 文学賞授賞式	市原市の主催する「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運営業務を受託する事業。
未定	市内中学校	文化部活動の地域移行運営業務	中学校文化部活動地域移行の運営業務を受託する事業

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

(貸出目標件数)

(単位：件)

施設名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	5	—	10	22	14	17	20	24	24	12	4	14	166
小ホール	18	19	19	20	17	20	21	20	20	14	10	20	218
会議室等	103	107	136	140	99	143	134	140	112	118	10	118	1,360
宴会室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※大ホールは、4月13日から6月4日までボーダーケーブル更新工事のため休館。

ホール棟は、2月15日から2月28日までの平日のみ、蛍光灯 LED 交換工事のため、貸出休止。

会議室棟は、2月の平日のみ、蛍光灯 LED 交換工事のため、貸出休止。

宴会室は、市原市と使用方法などを協議し、決定していく予定。

②保守点検・管理業務委託

番号	業 務 委 託 名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	消防設備保守業務委託
4	昇降機保守業務委託
5	吸収冷温水機保守業務委託
6	ホール舞台保守業務委託
7	ホール照明保守業務委託
8	放送装置保守業務委託
9	ピアノ保守業務委託
10	電話交換機設備保守業務委託
11	一般廃棄物処理業務委託
12	産業廃棄物処理業務委託
13	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備業務委託
14	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
15	窒素酸化物濃度測定業務委託
16	飲料水水質検査委託
17	簡易専用水道検査委託
18	自家発電機負荷試験業務委託
19	舞台運營業務委託

Ⅱ 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

宴会室については、飲食提供に必要な不可欠な厨房設備等が老朽化してきており、設備修繕等の必要性があることから、現在、臨時会議室等として使用しています。なお、市原市から厨房設備等の設備修繕等は実施しないとのことであるため、引き続き市原市と宴会室の使用方法等を協議してまいります。

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

事 業 名	内 容
チケット受託販売事業	施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施する。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

事業名	内 容
施設利用者の利便性向上のための事業	市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板類、飾花、ピアノ調律、コピーのサービスを実施するほか、物品等販売、弁当、飲料、ゴミ袋の販売を行い、利用者サービスの向上を図る事業を実施する。

Ⅲ その他の事業

事業名	内 容
その他の事業	施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施する。

Ⅳ その他

1 理事会及び評議員会等の開催予定

会議名	実 施 予 定	備 考
理事会	5 月、2 月	
評議員会	5 月	
会計監査	5 月	監事による決算監査

2 職員研修実施予定

研 修 名	実施予定回数
全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会	年 1 回
関東甲信越静ブロックアートマネジメント研修会（自主事業・管理部門）	年 2 回
全国劇場・音楽堂等技術職員研修会	年 1 回
関東甲信越静ブロック技術職員研修会	年 1 回
千葉県公立文化施設協議会技術職員研修会	年 1 回
ちば文化振興ネットワーク協議会	年 4 回
その他、文化振興・施設管理・財団運営に必要な研修	適宜

令和8事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算書

令和8事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算は、次に定めるところによる。

収 支 予 算 書 総 括 表（損益方式）

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度（補正後）	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10,000	10,000	0
基本財産受取利息	10,000	10,000	0
特定資産運用益	150,000	150,000	0
特定資産受取利息	150,000	150,000	0
事業収益	261,069,900	261,181,000	△ 111,100
施設管理事業収益	148,074,000	147,458,000	616,000
指定管理文化事業収益	40,032,000	47,704,000	△ 7,672,000
自主文化事業収益	15,300,000	7,995,000	7,305,000
受託文化事業収益	2,205,900	2,770,000	△ 564,100
施設貸出事業収益	49,358,000	49,154,000	204,000
飲食提供事業収益	0	0	0
受託販売事業収益	3,300,000	3,300,000	0
利便性向上事業収益	2,800,000	2,800,000	0
雑収益	11,000	11,000	0
雑収益	1,000	1,000	0
受取利息	10,000	10,000	0
経常収益計	261,240,900	261,352,000	△ 111,100
(2) 経常費用			
事業費	261,714,000	283,624,000	△ 21,910,000
出演料	38,710,000	41,410,000	△ 2,700,000
報償費	462,000	0	462,000
仕入	1,100,000	1,100,000	0
給料手当	79,803,000	80,260,000	△ 457,000
役員報酬	5,134,000	4,768,000	366,000
退職給付費用	5,174,000	6,435,000	△ 1,261,000
法定福利費	13,887,000	13,387,000	500,000
福利厚生費	807,000	607,000	200,000
旅費交通費	200,000	270,000	△ 70,000
光熱水費	18,600,000	37,610,000	△ 19,010,000
消耗品費	5,104,000	5,420,000	△ 316,000
印刷製本費	86,000	62,000	24,000
図書購入費	84,000	84,000	0
委託料	65,373,000	63,890,000	1,483,000
賃借料	6,293,000	7,525,000	△ 1,232,000
燃料費	88,000	88,000	0
広告宣伝費	5,886,000	7,276,000	△ 1,390,000

通信運搬費	1,491,000	1,551,000	△ 60,000
租税公課	314,000	357,000	△ 43,000
修繕費	4,000,000	4,000,000	0
支払手数料	7,032,000	5,506,000	1,526,000
負担金	239,000	231,000	8,000
経理費	691,000	691,000	0
保険料	366,000	366,000	0
雑支出	640,000	580,000	60,000
減価償却費	150,000	150,000	0
管理費	1,906,000	2,765,000	△ 859,000
給料手当	402,000	811,000	△ 409,000
役員報酬	593,000	616,000	△ 23,000
退職給付費用	26,000	65,000	△ 39,000
法定福利費	70,000	136,000	△ 66,000
福利厚生費	5,000	7,000	△ 2,000
旅費交通費	80,000	65,000	15,000
修繕費	150,000	250,000	△ 100,000
印刷製本費	50,000	135,000	△ 85,000
交際費	30,000	30,000	0
消耗品費	50,000	50,000	0
広告宣伝費	50,000	250,000	△ 200,000
研修費	130,000	80,000	50,000
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	200,000	200,000	0
経常費用計	263,620,000	286,389,000	△ 22,769,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,379,100	△ 25,037,000	22,657,900
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,379,100	△ 25,037,000	22,657,900
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,379,100	△ 25,037,000	22,657,900
一般正味財産期首残高	88,744,972	113,781,972	△ 25,037,000
一般正味財産期末残高	86,365,872	88,744,972	△ 2,379,100
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	89,365,872	91,744,972	△ 2,379,100

収支予算の事業別区分経理の内訳表

令和8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公 1	小 計	収 1	収 2	他 1	共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000
基本財産利息収益	10,000	10,000					0		10,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000
特定資産利息収益		0					0	150,000	150,000
事業収益	205,611,900	205,611,900	0	6,100,000	49,358,000	0	55,458,000	0	261,069,900
施設管理事業収益	148,074,000	148,074,000					0		148,074,000
指定管理文化事業収益	40,032,000	40,032,000					0		40,032,000
自主文化事業収益	15,300,000	15,300,000					0		15,300,000
受託文化事業収益	2,205,900	2,205,900					0		2,205,900
施設貸出事業収益					49,358,000		49,358,000		49,358,000
飲食提供事業収益			0				0		0
受託販売事業収益				3,300,000			3,300,000		3,300,000
利便性向上事業収益				2,800,000			2,800,000		2,800,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	11,000	11,000
雑収益		0					0	1,000	1,000
受取利息		0	0				0	10,000	10,000
経常収益計	205,621,900	205,621,900	0	6,100,000	49,358,000	0	55,458,000	161,000	261,240,900
(2) 経常費用									
事業費	214,567,000	214,567,000	0	3,799,000	43,348,000	0	47,147,000		261,714,000
出演料	38,710,000	38,710,000					0		38,710,000
報償費	462,000	462,000					0		462,000
仕入		0	0	1,100,000			1,100,000		1,100,000
給料手当	64,162,000	64,162,000	0	402,000	15,239,000		15,641,000		79,803,000
役員報酬	4,127,000	4,127,000	0	26,000	981,000		1,007,000		5,134,000
退職給付費用	4,160,000	4,160,000	0	26,000	988,000		1,014,000		5,174,000
法定福利費	11,165,000	11,165,000	0	70,000	2,652,000		2,722,000		13,887,000
福利厚生費	648,000	648,000	0	5,000	154,000		159,000		807,000

光熱水費	13,950,000	13,950,000			4,650,000		4,650,000		18,600,000
旅費交通費	200,000	200,000	0				0		200,000
消耗品費	4,304,000	4,304,000	0		800,000		800,000		5,104,000
印刷製本費	64,000	64,000	0		22,000		22,000		86,000
図書購入費	63,000	63,000			21,000		21,000		84,000
委託料	48,942,000	48,942,000	0	750,000	15,681,000		16,431,000		65,373,000
賃借料	5,969,000	5,969,000	0	0	324,000		324,000		6,293,000
燃料費	66,000	66,000			22,000		22,000		88,000
広告宣伝費	5,882,000	5,882,000	0		4,000		4,000		5,886,000
通信運搬費	1,283,000	1,283,000	0		208,000		208,000		1,491,000
租税公課	262,000	262,000	0	2,000	50,000		52,000		314,000
修繕費	3,000,000	3,000,000			1,000,000		1,000,000		4,000,000
支払手数料	5,397,000	5,397,000		1,408,000	227,000		1,635,000		7,032,000
負担金	176,000	176,000	0	3,000	60,000		63,000		239,000
経理費	511,000	511,000	0	7,000	173,000		180,000		691,000
保険料	274,000	274,000			92,000		92,000		366,000
雑支出	640,000	640,000					0		640,000
減価償却費	150,000	150,000			0		0		150,000
管理費								1,906,000	1,906,000
給料手当								402,000	402,000
役員報酬								593,000	593,000
退職給付費用								26,000	26,000
法定福利費								70,000	70,000
福利厚生費								5,000	5,000
旅費交通費								80,000	80,000
修繕費								150,000	150,000
印刷製本費								50,000	50,000
交際費								30,000	30,000
消耗品費								50,000	50,000
広告宣伝費								50,000	50,000
研修費								130,000	130,000
保険料								70,000	70,000
雑支出								200,000	200,000
経常費用計	214,567,000	214,567,000	0	3,799,000	43,348,000	0	47,147,000	1,906,000	263,620,000

当期経常増減額	△ 8,945,100	△ 8,945,100	0	2,301,000	6,010,000	0	8,311,000	△ 1,745,000	△ 2,379,100
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,985,062	3,985,062	0	△ 1,136,767	△ 2,848,295	0	△ 3,985,062	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,960,038	△ 4,960,038	0	1,164,233	3,161,705	0	4,325,938	△ 1,745,000	△ 2,379,100
一般正味財産期首残高									88,744,972
一般正味財産期末残高									86,365,872
II 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高									89,365,872

※事業区分について

公益目的事業（公1）・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等（収1）・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等（収2）・・・その他公益目的事業の推進に資する事業（チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業）

収益事業等（他1）・・・市原市から指定された施設の管理運営事業（公益目的以外の施設貸出事業）